

### ① 報徳二宮神社

報徳二宮神社は、明治30年(1897年)に、報徳仕法により多大な恩恵を受けた地元の人々を中心に、創建されました。境内の報徳文庫には、膨大な尊徳関係資料の写本が収納されています。



### ② 二宮尊徳の墓

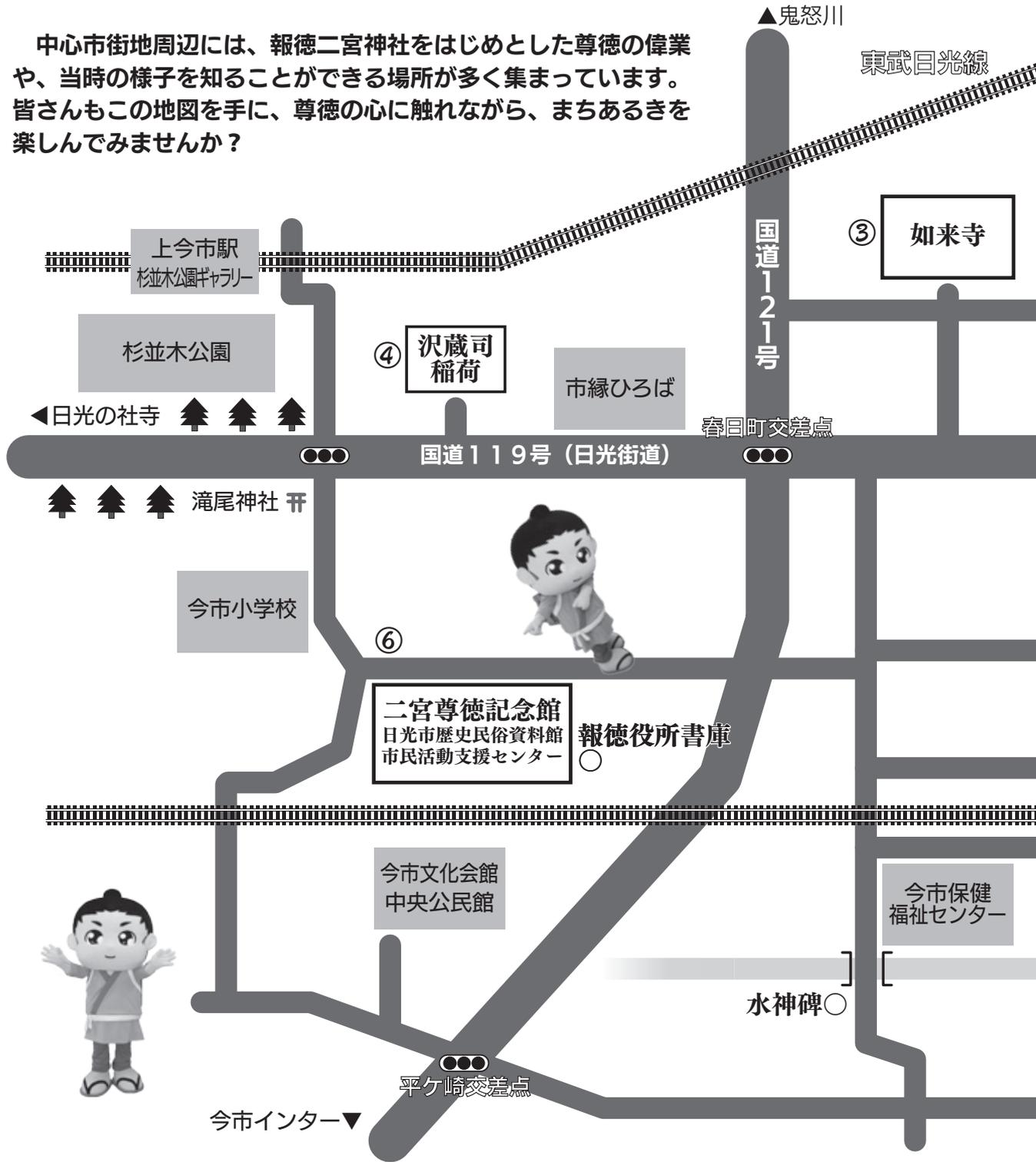
尊徳の墓は報徳二宮神社境内にあります。当初、尊徳の遺言により墓石は建立されませんでした。安政5年(1858年)に、尊徳を慕う人々により石塔墓碑が建立され、現在に至ります(具指定文化財)。



### ③ 如来寺

如来寺は室町時代に創建された浄土宗の寺院で、安政3年(1856年)10月に尊徳が亡くなった際、ここで葬儀が執り行われました。

中心市街地周辺には、報徳二宮神社をはじめとした尊徳の偉業や、当時の様子を知ることができる場所が多く集まっています。皆さんもこの地図を手に、尊徳の心に触れながら、まちあるきを楽しんでみませんか？



#### ④ 沢蔵司稲荷

春日町の浄泉寺境内にあり、尊徳の息子・弥太郎が、沢蔵司稲荷の信仰で平穩に過ごせることに感謝して、金12両を寄進し、神社仕法を行いました。現在も玉垣に弥太郎の息子、金之丞・延之輔の名が残っています。



#### ⑤ 二宮堀

報徳仕法による用水は、市内に多数ありますが、和泉・平ヶ崎・千本木三か村用水(現在は七里・野口を含め「5か村用水」という)は、最初の大事として約6・3 kmが完成したもので、通称・二宮堀と呼ばれています。用水脇には記念の水神碑も現存しています。

#### ⑥ 二宮尊徳記念館

二宮尊徳記念館は、平成29年4月に、尊徳の住居・仕事場であり、亡くなった場所でもある今市報徳役所の跡地に開館しました。詳しくは8ページをご覧ください。